

前 奏
開 会 招 詞 詩編24編7-10節

司式 杉山昌樹牧師
奏楽 五十嵐美代枝姉

* 賛 美 歌 5:1 (ソングシート)

1. めぐみゆたけき主を ほめたたえまつれ、そのみいつくしみは とわにたえせず。

救われしみたみよ、おごそかにうたえ、「あわれみとまことは かわることなし」と。アーメン

* 開 会 祈 禱

罪 の 告 白 祈 禱 書 2 罪の告白①

神よ、わたしを憐れんでください。御慈しみをもって。深い御憐れみをもって、背きの罪をめぐい去
ってください。わたしの咎をことごとく洗い、罪から清めてください。わたしは咎のうちに産み落とさ
れ、母がわたしを身ごもったときも、わたしは罪のうちにあったのです。わたしを洗ってください。雪よ
りも白くなるように。神よ、わたしの内に清い心を創造し、新しく確かな霊をさずけてください。救い
の喜びを再びわたしに味わわせ、自由の霊によって支えてください。主よ、わたしの唇を開いてく
ださい。この口は、あなたの賛美を歌います。主イエス・キリストの御名によって。アーメン。(詩
編51)

罪の赦しの宣言

十 戒 祈 禱 書 4

1. あなたは、わたしのほかに、何者をも神としてはならない。
2. あなたは自分のために刻んだ像を造ってはならない。それにひれ伏してはなら
ない。それに仕えてはならない。
3. あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに唱えてはならない。主は、
み名をみだりに唱える者を、罰しないではおかない。
4. 安息日をおぼえて、これを聖とせよ。
5. あなたの父と母を敬え。
6. あなたは殺してはならない。
7. あなたは姦淫してはならない。
8. あなたは盗んではならない。
9. あなたは隣人について偽証してはならない。
10. あなたは隣人の家をむさぼってはならない。隣人の妻、またすべて隣人
のものをむさぼってはならない。(出エジプト20、申命記5)

* 賛 美 歌 5:2 (ソングシート)

なやみせまるときも み名をよばわれれば、主はこたえたまいて、この身をばすくい、
いとひろきところに いこわしめたもう。主ともにましませば われにおそれなし。アーメン

公 同 の 祈 禱 45 年 末 の 祈 り

世界と歴史を支配しておられる、主なる神さま、栄光はすべてあなたのものです。今年も御国が進展したことを覚えて、御名を賛美します。この一年も、わたしたちの信仰と生活を支え、祈りと奉仕と献げものを尊い御業に用いてくださり、感謝します。わたしたちの苦労は、決して無駄に終わらないことを信じます。天の父なる神さま、あなたは、おびたしい証人によって、わたしたちを取り囲んでおられます。わたしたちも、愛する聖徒たちと共に、信仰の創始者また完成者である主イエスを見つめながら、自分に定められた競争を忍耐強く走り抜くことができますように。主が栄光の内に再び来られるとき、朽ちない冠をいただくことができますように。アーメン。(I コリント 9・15、ヘブライ 12)

献 金 (黒) 教会活動・(赤) 新潟伝道所 70

今献ぐるそなえものを 主よ 清めて受けたまえ アーメン

子ども礼拝

聖書朗読 出エジプト 13章 11-16 (旧約聖書 115 頁)

ルカ 2章 22-40 節 (新約聖書 103 頁)

説教・祈禱 「イエスによって立つ」 杉山昌樹牧師

* 賛 美 歌 7 8 : 1 , 3 , 5 (ソングシート)

- 輝く日を仰ぐとき 月星眺むるとき 雷 鳴り渡るとき まことの御神を思う
(おりかえし) たたえよ 我が心よ 聖なる御神を たたえよ 我が心よ 聖なる御神を
- 御神は世人を愛し 一人の御子を下し 世人の救いのために 十字架にかけ給えり
(おりかえし)
- まもなく主イエスは来たり 我らを迎え給わん いかなる喜びの日ぞいかなる栄えの日ぞ
(おりかえし) アーメン

* 主 の 祈 り 祈 禱 書 1

天にまします我らの父よ
願わくは御名をあげさせたまえ
御国を来たらせたまえ 御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ
我らの日用の糧を 今日も与えたまえ
我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく 我らの罪をも赦したまえ
我らを試みに会わせず 悪より救い出したまえ
国と力と栄えとは 限りなく汝のものなればなり アーメン。

* 頌 栄 6 7

主イエスのめぐみよ、ちちのあいよ、みたまのちからよ、あみさかえよ。アーメン。

* 祝 禱

後 奏

報 告 司会古澤純一長老・受付門脇陽子長老(次週:雨宮信・古澤純一長老)

礼拝当番/献金当番 桑原健次、有山(次週) 杉山陽一、長尾京子

本日 受付 1階:若月学執事 2階:古澤迪子執事/ZOOM ホスト・録音:大日南信也

次週 受付 1階:大日南隆夫執事 2階:那珂信之執事/ZOOM ホスト・録音:大日南信也